

【開催案内：京都大学学部学生向け】



## 百万遍談議

「なにげないひとことがノーベル賞に」

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近ではコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっていっています。

そこで、今春始動した京都大学人と社会の未来研究院では、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようと思い、このような企画を立ててみました。京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、ひとの話をきき、自分の考えを述べる。それだけです。毎回のテーマに関して、あらかじめ知識が必要となるわけではありません。唯一お願いするのは、毎回提示される「書物」あるいは「短文」を読んできて、それだけです。

「ひとはこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えをひとにきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。気軽な気持ちで参加してくださいませよう。タイトルの「なにげないひとことがノーベル賞に」というのは、この場での出会いが、文系理系問わずノーベル賞級の研究や業績を生むことを秘かに期待してのことです。数十年後の世界を夢想しながら、いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

### 【第1回百万遍談議】

日時：11月26日（土）10:30～12:00

場所：附属図書館3階共同研究室5

話題提供者：宇佐美文理（人と社会の未来研究院長／文学研究科教授）

対象：京都大学学部学生（正規生）先着8名

使用言語：日本語

テーマ：「不老と不死」

申込：<https://forms.gle/26bEixpaHRPPDkpo7>

2022年11月26日

百万遍談議 開催報告

# 第1回 「不老と不死」

話題提供者

宇佐美文理

(人と社会の未来研究院長／文学研究科 教授)

参加者：6名

[内訳]

1回生2名 (文学・農学)

2回生2名 (文学・法学)

3回生2名 (いずれも工学)

## 談議メモ

使用テキストに記載された、「すべての病気が克服された状況下で、『不老』の技術が開発された」という設定において、そうした場合にいったい何が起こるのかについて議論となり、さまざまな意見が出されました。参加者のなかには、驚くような解釈を提示する人も。

後半は、「不老不死の世界になったら困ること」を課題として提起した人の発言をめぐって意見が交わされ、想定されていなかった議論の広がりを見せる結果となりました。